

第74話 文政7年の洪水 その1 中山町 歴史散策

文政7年(1824)8月13日夜から大雨となり、8月14日から15日にかけては大風雨となりました。記録によると、馬見ヶ崎川の小白川天神裏の石堤が破れたことにより、濁流は旅籠町、六日町、四日町、銅屋町、下条町へと流れ、町中が川のようにになりました。また、濁流は、中野村船町へ流れて須川に流れ込むとともに、船町上の車淵が増水のために破れ、濁流が達磨寺村から長崎村へと北に流れました。その結果、立道周辺の耕地には砂泥や流木が溜まって通行できなくなる一方、長崎村でも床上まで浸水したところがありました(「渡辺吉兵衛日記」)。

このときの達磨寺村の様子を「斎藤栄庵家文書」によって見ると、8月13日夜からの大風雨で須川筋では車淵・宮代・達磨淵・立谷川口が押し破られ、8月15日の午後2時頃には濁流が耕地や村の中へ流れてきましたが、水深が5尺余(約1.5m)にもなったため、人々は住家の梁の上

に床を引き上げて避難しました。洪水による浸水を免れたのは5軒だけで、その他の住宅は水に浸かり、住宅1軒と小屋1軒が潰れ、家財道具や食糧などもたくさん押し流されました。

この洪水は、前代未聞の大洪水で、8月15日の午後2時頃から8月16日の午後1時頃まで丸一日以上湛水し、身寄りの人たちが長崎や小塩から舟で来て、戸口に舟を着けて見舞いましたが、家の中に砂泥が入り込み、火を焚くこともできず、泥を片付けておくところもないという有様でした。

人々は、小高い場所に集まって玄米で粥を煮て食べるなど村人の難儀は大変なものだったと記録されています。

※参考 中山町史 中巻 第9章第1節 風水害と対策

山形市在住の高垣政次さんより「お達磨の桜」の油絵を寄附していただきました。この絵画の大きさはF80号(横145cm×縦112cm)で第32回新芸術展の現代文化協会賞を受賞しています。「文化・芸術は心の財産。次世代を担う多くの子どもたちの琴線に触れ、情操の一助になれば」との高垣さんの意向から、中山中学校内に展示される予定です。

●長崎小学校を平成21年度に退職された教職員の阿部啓子さん、川崎朋子さん、平成22年度に退職された芦野芳子さんより児童用図書7万冊相当額を長崎小学校へ寄附していただきました。

●読み聞かせボランティア「ほぐわあーつ」より、児童用図書7000冊相当額を長崎小学校へ寄附していただきました。



油絵「お達磨の桜」

寄附ありがとうございます

町と皆さんの橋渡し役 区長さんにぜひご協力ください!!

第1回区長懇談会を開催

4月20日、第1回区長懇談会が中央公民館で行われました。

懇談会前には町内65地区の全区長で組織する区長連絡協議会の総会が行われ、佐東重幸会長(土橋5区長)をはじめとする役員が選出され、今年度の運営体制が整いました。また、町内のほぼ全世帯が加入する町災害互助会の平成24年度の決算が承認されました。

懇談会には区長のほか、町長、教育長、各課長等が出席し、今年度の町の予算と主な施策について説明。円滑に町政を運営するため、区長の皆さんへ協力をお願いしました。

住みよい町づくりや、それぞれの地区での課題の解決には区長だけでなく、住民の皆さんの協力も不可欠です。地域の課題に関心を持ち、地区の活動・運営等に対して、区長へのご協力をお願いします。



困ったら一人で悩まず 行政相談 総務省の行政相談委員に黒沼裕一さん

当町担当の行政相談委員として4月1日付けで総務大臣から黒沼裕一さん(桜町)が委嘱されました。



行政相談委員は行政機関、独立行政法人、特殊法人の業務など、いわゆる役所の業務に対する苦情、要望、意見等の相談を住民の皆様から受け付け、相手機関との間に立って、それぞれの機関の自主的な改善が促されるよう働きかける仕事をしています。

困ったことがありましたら、電話や口頭で、気軽にご相談ください。

※黒沼裕一さん 中山町あおば23番地5 ☎662-4828

※その他、行政相談に関するお問い合わせ先 総務省山形行政評価事務所 ☎632-3113



前任の行政相談委員、村山欽一さん(上町)が平成11年4月1日から平成25年3月31日までの14年間行政相談委員を務められ、総務大臣から感謝状が贈られました。長年大変おつかれ様でした。

町の広報方針を決定 広報委員会

4月26日、第1回広報委員会が開催され、議会、教育関係、商工業、農業などの各種団体や公募によって選ばれた新委員に委嘱状が交付され、今年度の町の広報方針について話し合われました。

①広報なかやま 毎月15日発行。町内の出来事や人物、行政情報を写真、資料、イラストを交え、よりわかりやすく、親しまれる広報紙を目指していきます。



②お知らせ版 毎月1日・15日発行。災害時などの緊急時には臨時号を発行します。4月からリニューアルし、紙質をよくし、2色刷りとなりました。15日号は広報なかやまと合わせて一冊で発行していきます。わかりやすい文章、読みやすいレイアウト等により、最後まで読んでもらえる紙面作りを心がけていきます。

③町公式ホームページ 原則毎月1日・15日更新。緊急時にはその都度更新し、町内外へ最新の情報を発信します。パソコンの苦手な方でも見たい情報へすぐにたどり着けるよう、わかりやすいホームページを目指していきます。

④広報車等による町内巡回広報 災害時など、緊急に広報する必要がある場合に行います。車のスピードを落とし、アナウンスがよく聞こえるように巡回するよう心がけます。

⑤SNSによる広報 テレビ・ラジオ・新聞社等へイベント等の情報提供を行い、町内外に情報を発信し、町のPRにつとめていきます。

お詫びと訂正

前号(4月15日号)13ページのスポーツ振興基金表彰の記事において、バスケットボール 今野君の名前は正しくは「雄貴」君でした。お詫びして訂正いたします。

広告

贈答用 さくらんぼ予約 承ります。

日替わり 手作り弁当 配達承ります!

390円 中山町情報・物産館

023-674-0575

●5月26日の風呂の日は! 大広間イベント午後1時~ 秀菊会による 『民謡・民舞・歌謡ショー』

ひまわり温泉 ゆ・ら・ら 会員募集中! QRコードからアクセス!

株式会社 中山町振興公社 ☎023-662-5780